

富士見市立水谷小学校グランドデザイン (令和6年度)

埼玉県教育行政重点施策

【豊かな学びで未来を拓く埼玉教育】

- ①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成
- ④自立する力の育成 ⑤多様なニーズに対応した教育の推進
- ⑥質の高い学校教育のための環境の充実
- ⑦家庭・地域の教育力の向上 ⑧生涯にわたる学びの推進

【教育理念】

「社会が劇的に変化の中で、自由に生きていく力を育む」(公教育の本質)

「自由に生きていく力」の源は「気力」である。

富士見市教育行政方針

【学びあい 人がつながり

一人ひとりが輝く 富士見の教育】

- ①学びあい、高めあい、夢と希望をはぐくむ教育の推進
- ②学びあう地域社会をめざす教育の推進
- ③組織の総合力を生かした教育の推進

目指す気力溢れる児童像

『自ら学び、自ら関わり、自ら健康を大切にする児童』

- (1) 自ら学ぶ子
 - 様々なことに関心を持ち探究心のある子
 - 課題を見つけ、課題解決を目指し考え抜く子
 - 友だちに教え、友だちに教わり、協働で学習できる子
- (2) 自ら関わる子
 - 自ら挨拶をし、人間関係を築ける子
 - 自分のよさや友だちのよさを見つけ自他を尊重する子
 - 自分、友だち、学級・学校のために役立つことを考え実行する子
- (3) 自ら健康を大切にする子
 - 規則正しい生活をする子
 - 運動遊びや運動を自ら楽しむ子
 - 健康にとってよいことを考え、自分の健康管理ができる子

学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

【目指す学校像】

教師が、児童が、
気力に溢れ、
真剣な眼差しと笑顔に満ちた学校

目指す気力溢れる教師像

『熱意・誠意・創意、そして笑顔溢れる教師』

- (1) 児童のために学び続ける教師 (熱意)
 - 児童理解に努め、児童理解を高める教師
 - プロ教師として知識・技術を高める教師
 - 愛情に溢れ、児童の笑顔を引き出す教師
- (2) 学校・家庭・地域に誠意を持って関われる教師 (誠意)
 - 礼儀をもって、親切丁寧に関われる教師
 - 児童の個性を尊重し大切にする教師
 - 保護者の思いを理解し、関わりを大切にする教師
- (3) 新たな教育活動を創造する教師 (創意)
 - 主体的・対話的で深い学びのある授業を実践する教師
 - 課題を見抜き、新たな教育活動を創造する教師
 - 自分の役割を認識し、役割を果たす教師

重点・努力点

- (1) 確かな学力の育成「かしこく」
- 探究型の学び、個別最適な学び、協働的な学びの実践
 - ・自分なりの問いを立て、自分なりの仕方、自分なりの答えにたどり着く学び
 - ・ICT機器の効果的な活用
 - 体験的な学びの実施
 - 総合的な学習の時間での異学年集団によるプロジェクト型の学びの実践
 - 高学年の一部教科担当制による質の高い学びの保証

- (2) 豊かな心の育成「やさしく」
- 非認知能力を醸成する活動の充実
 - ・児童が主体的、協働的に活動する特別活動
 - ・時間と時刻を守る、びかもく清掃、あいさつと返事
 - ・「チェックイン」「チェックアウト」の時間での自己肯定感、メタ認知等の醸成
 - 情報モラル教育の充実
 - 児童会を中心とした、積極的な「いじめ防止」のための活動の充実
 - 特別活動の充実

- (3) 健やかな身体の育成「たくましく」
- 心身ともにたくましい児童の育成
 - ・運動の特性に触れ運動の楽しさを味わわせる体育科授業
 - ・体育的活動の充実
 - ・健康教育の充実
 - ・体力の向上
 - 保護者と連携した食育の充実
 - 健康教育の充実

- (4) 一人一人を大切にされた教育の推進
- 自己肯定感を育む学級経営
 - ・児童一人一人のよさを「認め・励まし・褒める」教育の実践
 - ・学級活動による望ましい人間関係の形成
 - ・自己肯定感を育む評価
 - 特別支援教育の充実
 - ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業、環境整備
 - 教育相談活動の充実
 - ・不登校、不登校傾向の児童への細やかな対応
 - 校内支援委員会の充実
 - ・個のニーズに応じた学びの場

- (5) 学ぶ環境の整備
- 校舎内外の環境美化
 - 教材教具、特別教室の整備
 - 教室のユニバーサルデザインに基づく環境整備
 - ICT環境の整備

- (6) 保護者・地域との連携
- 安心・安全な学校(安全指導、危機管理、衛生管理、健康教育、保護者との連携等)、登下校の安全の確保
 - 学校応援団、学生ボランティア、地域人材の効果的活用
 - 開かれた学校(学校運営支援者協議会、学校公開等)
 - 五校連携(本中、水中、東小、みずほ台小との連携)による教育の推進